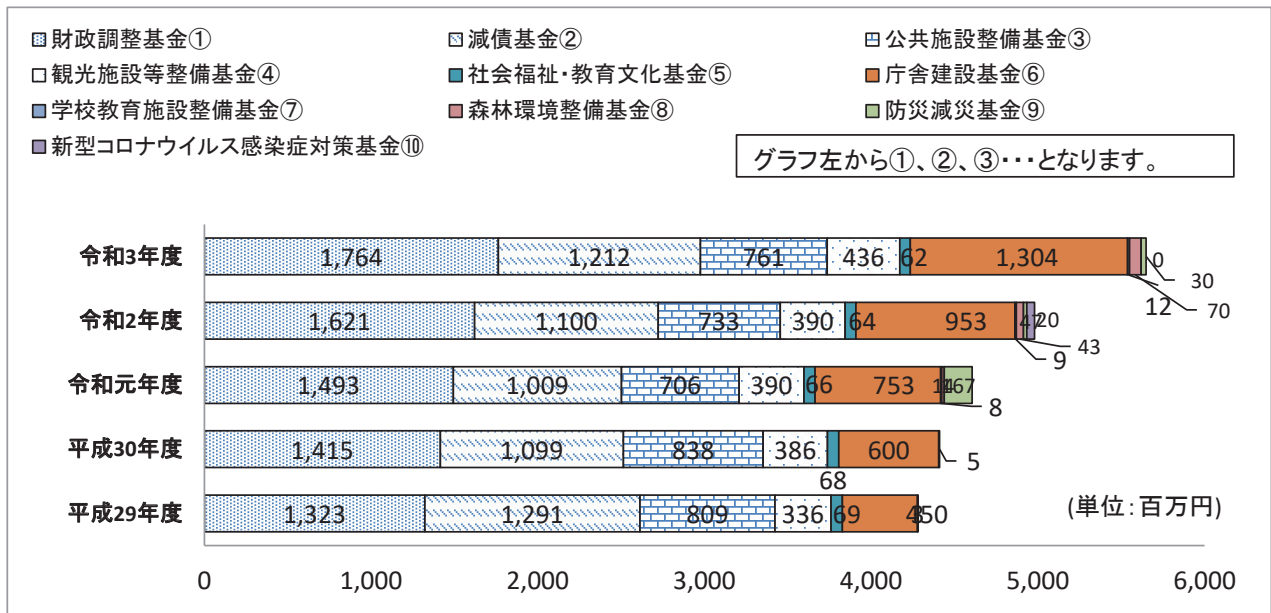


【積立基金の推移】



積立基金（町の貯金）の現在高は、地方交付税の交付増などにより積み増すことができました。しかしながらこれらの積立基金は、奥多摩処理区下水道整備事業に要した起債（借金）の償還（返済）や公共施設等の老朽化対策費用の財源として活用していく状況にあります。町では、自前で確保できる収入（自主財源）に比べ歳出が非常に大きい状況にあり、財源依存している国や東京都の今後の財政状況によっては、厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

【令和3年度特別会計決算総括表】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
都民の森管理運営事業特別会計	7859万1千円	7049万4千円	809万7千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計	1億6357万4千円	1億6300万8千円	56万6千円
国民健康保険特別会計	7億8768万9千円	7億5695万円	3073万9千円
後期高齢者医療特別会計	2億1149万4千円	2億539万6千円	609万8千円
介護保険特別会計	8億6674万8千円	8億2566万2千円	4108万6千円
下水道事業特別会計	6億5257万8千円	6億5257万6千円	2千円
合計	27億6067万4千円	26億7408万6千円	8658万8千円

特別会計の決算額（合計）は、前年度に比べて歳入で2.8%、歳出で1.8%の増となっています。主な増要因は、国民健康保険特別会計において保険給付費が増となったことや、下水道事業特別会計において小河内処理区での電気設備等の更新整備委託を実施したことなどによるものです。

※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360

決算状況②